



東日本大震災を忘れないために
－ 10周年記念の祈り－

2021年3月11日 14:30

立 教 学 院

諸聖徒礼拝堂(池袋)

聖パウロ礼拝堂(新座)

まえがき

未曾有の被害をもたらした 3.11 東日本大震災から 10 年が経過しました。わたしたちは今日、犠牲者を追悼し、被災者の慰めと、被災地の再生のために祈るために集まりました。

今なお被災者の困難は続いています。また、原子力発電所の事故処理にはまだまだ時間を要します。わたしたちは、街の整備が終わっても、未だ、立ち直れていない方々を覚えて心を込めて祈ります。

キリストは、わたしたちと共においてくださって、わたしたちのすべてを知ってくださいます。わたしたちひとり一人が、震災という、この痛みと哀しみの出来事を忘却することなく、つねに、無関心を戒め、隣人への愛に生きるようにとの、あなたの教えに誠実にいられますように。

そして、わたしたちの「憶え続ける」という、この祈りの営みが、あなたの目に尊いものとして、そして、全ての被災者、被災地にある支援者たちの目に希望として映りますように、と願い祈ります。

本式文は、2011 年 9 月 11 日に献げられた、カトリック中央協議会、日本キリスト教協議会 共催による『3.11 東日本大震災を心にとめ 死者への追悼 被災者への慰め 被災地の再生を求める礼拝』で用いられた式文を参照し、10 周年の礼拝のために編集し直したものです。

聖書の引用は日本聖書協会『聖書 新共同訳』(2000 年版)を使用しました。

司式者は沈黙のうちに入堂する。

一同立つ。

〈招きの言葉〉

司式者 わたしたちの主は、すべての人々の救いのために、死からよみがえり、絶望の中に希望の光を示してくださいました。
今、あの大きな震災のために命を失った方々のことを心にとめ、その死を悼みます。また、さまざまな被害の中、そして今なお続く放射性物質による汚染の中、苦しみと悲しみの中にある一人ひとりの慰めと地域・社会の復興のために、ここに集い祈りを合わせます。
わたしたちは、何にもまして、主イエス・キリストの命、慰めと力を求めましょう。

〈復活のローソクの点火〉

司式者 復活の主よ、あなたの光をもってわたしたちを照らし、命の恵みでわたしたちを満たしてください。
会衆 主よ、今ここにおいでください。

点火する。

〈詩編46編〉

- 1 神はわたしたちの避けどころ、わたしたちの力 // 悩むときの変わらぬ助け
- 2 たとえ地が揺らぎ、山が海に崩れ落ち // 海がどよめき、しぶきを上げ
- 3 その勢いに山々が揺れ動いても // 決して恐れることはない

- 4 川が流れ、そのせせらぎは // 神の都、いと高き方のみ住まいを喜ばす
- 5 神がおられる都は揺るがない // 神は夜明けにこれを助けられる
- 6 もろもろの民は騒ぎ立ち、国々は揺らぐ // 神が声を出される土地は溶ける
- 7 万軍の主はわたしたちとともにおられる // ヤコブの神はわたしたちの砦
- 8 主のみ業を仰ぎ見よう // 主は地に不思議なみ業を行われた
- 9 主は地の果てまでも戦いを断ち // 弓を折り、槍を砕き、盾を焼かれた
- 10 「静まれ、わたしを神と知れ // わたしはもろもろの民の手でたたえられ、あまねく世界であがめられる」
- 11 万軍の主は私たちとともにおられる // ヤコブの神はわたしたちの砦
- 栄光は // 父と子と聖霊に
はじめのように、今も // 世々に限りなく **アーメン**

〈祈り〉

司式者 とも いの 共に祈りましょう。

わたしたちの神よ、あなたの恵みを慕い求めます。

10 年前の東日本大震災において、多くの命が失われ、また大勢の被災者が苦しみと悲しみの中に置かれました。今も不安と恐れの中に立ちつくしています。また未だ、深い闇と絶望がわたしたちを取り巻いています。主よ、どうかわたしたちに聖霊を注ぎ、恵みの光で満たしてください。み言葉をもって、わたしたちを励まし、互いに喜んで仕え合い、新しい歩みを進めていくことができますように、この礼拝を祝福してください。み子イエス・キリストのみ名によって祈ります。

会衆 **アーメン**

一同着席する。

〈み言葉〉

司式者 ^{せいしよ} 聖書 ^{ことば}のみ言葉 ^きを聞きましょう。

朗読者 ^{せいしよ} 聖書は、^{しんと}コロサイの信徒 ^{てがみだい}への手紙 ^{しょう}第3章 ^{せつ}12節から

12あなたがたは神に選ばれ、聖なる者とされ、愛されているのですから、
^{あわ}憐れみの心 ^{じあい}、慈愛 ^{けんそん}、謙遜 ^{にゆうわ}、柔和 ^{かんよう}、寛容 ^みを身に着けなさい。13互いに忍び
^あ合い ^せ、責めるべきことがあっても、赦し ^{ゆる}合いなさい。主 ^あがあなたがたを赦し
てくださったように、あなたがたも同じようにしなさい。14これらすべてに加
^{あい}えて ^み、愛 ^つを身に着けなさい。愛 ^{あい}は、すべてを完成させるきずなです。15ま
た、キリストの平和 ^{へいわ}があなたがたの心 ^{こころ}を支配 ^{しはい}するようにしなさい。この平和
にあずからせるために、あなたがたは招かれて一つの体 ^{まね}とされたので
す。いつも感謝 ^{かんしゃ}していなさい。16キリストの言葉 ^{ことば}があなたがたの内に豊か
^{やど}に宿 ^{ちえ}るようにしなさい。知恵 ^つを尽くして互いに教え ^{たが}、諭 ^{おし}し合い ^{さと}、詩編 ^あと賛歌 ^{しへん}
と霊的な歌 ^{れいてき}により、感謝 ^{うた}して心 ^{かんしゃ}から神 ^{こころ}をほめたたえなさい。

(コロサイの信徒への手紙第3章12節-16節)

朗読者 ^{せいしよ} 聖書 ^おを終わります。

〈説教〉

〈祈り〉

司式者 ^{しゆ} 主 ^{みな}は皆さんとともに

会衆 **また、あなたとともに**

司式者 ^{いの} 祈り ^{まじ}ましょう

司式者 2011 年 3 月 11 日。あの日、わたしたちはかつて経験したこ

とのない大きな地震と津波に襲われました。多くの命が失われ、人々の生活が奪われました。未だにその行方について知らないままになっている人々さえます。また、その津波によって、わたしたち人間の手によって建てられた原子力発電所に大きな事故が起こり、大規模な放射性物質の汚染がもたらされました。

主よ、失われた一匹の羊を見出されるあなたのみ業が、その一人ひとりに確かなになされていることを信じさせてください。突然に終わりをもたらされた命の歩みを祝福して、あなたのみ手に抱いてください。どうか隣れんでください。

会衆 わたしたちの主よ。

あなたのみ前にある一人ひとりの祈りに耳を傾け、聞いてください。

司式者

神よ、今この時にも、悲しみと恐れ、不安と闇に包まれている被災者が多くあることを心にとめます。家を失い、生活を失い、家族を失った人々、思い出が流され、生きてきた証が奪い取られた人々の嘆きは深いのです。明日への希望が見出せず、生きる術を取り戻すことができない人々、移住を強いられた人々、被ばくを強いられている人々の不安は大きいのです。

主よ、私たちを力づけ、見えない目を開き、恐れる心に平安を与えられるあなたのみ業がその一人ひとりに確かなになされていることを信じさせてください。あなたの命の光をともし、一人ひとりを活かしててください。どうか隣れんでください。

会衆 わたしたちの主よ。

あなたのみ前にある一人ひとりの祈りに耳を傾け、聞いてください。

司式者

主よ、一日も早く原子力発電所の事故が終息しますように。わたしたちはあなたがお造りになった自然に対する謙虚さを欠い

ていたことを認めます。わたしたちは自然の大きさを軽んじ、自分たちの安楽さ、便利さだけを考へて生活を築いてきました。主よ、わたしたちは万物の造り主であるあなたの前にへりくだります。どうか目を上げて、現実をありのままに見る勇氣と知恵をわたしたちにお与えください。あなたの眞理に根ざして考へ、自分たちの生き方を変えていくことができますよう、わたしたちを導いてください。どうか憐れんでください。

会衆 わたしたちの主よ。
あなたのみ前まえにある一人ひとりの祈りいのに耳を傾かたむけ、聞きいてください。

司式者 あの時ときから、この災害さいがいに関わつて、世界中のあらゆるところから支援の物資ぶつしが寄せられ、募金ぼきんが捧げられ、祈りいのがなされてきました。共に生きるための絆きずなを紡ぐ人々つむがあり、信仰者しんこうしやもそうでない者ものも、今一度、あなたによって与えられる命いのちを生いきることのかげがえのない意味いを確たかめることができました。主よ、世界を造り、これを保つあなたご自身じしんが、すべての人々ひとびとにあなたのみ心こころをたずね求めさせてください。そして、どうかその一人ひとりひとりが、あなたから与えられる眞実まことの喜あわびを見出すことができますように。どうか憐れんでください。

会衆 わたしたちの主よ。
あなたのみ前まえにある一人ひとりの祈りいのに耳を傾かたむけ、聞きいてください。

司式者 神よ、わたしたちを祝福しゆくふくしてください。あなたが約束やくそくしてくださった救いの確たかさすくに信た頼しんらいを持ち、共にあなたともの義ぎとあなたのみ国くにを求め、そのためにわたしたちがなすべき務つとめを教おしえてください。あなたのみ言葉ことば、あなたの憐れみあわと愛あいとでわたしたちを満みたしてください。

どうか、主イエス・キリストの復活ふっかつの光ひかりに照てらされて、一人ひとり

いのち ひと まち きょうどうたい ふっこう
の命、一つひとつの町や共同体が復興されますように。その
はたら ち え ゆう き あた
働きのためによき知恵と勇気とを与え、わたしたちをこの礼拝
つか
から遣わしてください。

すべての感謝と願いをわたしたちの主イエス・キリストのみ名に
いの
よって祈ります。

会衆 アーメン

〈黙想〉

黙祷後、一同、次の主の祈りを唱える。

〈主の祈り〉

司式者 主よ、憐れみをお与えください

会衆 キリストよ、憐れみをお与えください

司式者 主よ、憐れみをお与えください

てん ちち
天におられるわたしたちの父よ、

な せい
み名が聖とされますように。

くに き
み国が来ますように。

こころ てん おこな ち おこな
み心が天に行われるとおおり、地にも行われますように。

わたしたちの日ごとの糧を今日もお与えください。

わたしたちの罪をお赦してください。わたしたちも人を赦します。

わたしたちを誘惑におちいらせず、

あく すく
悪からお救いください。

くに ちから えいこう えいえん
国と力と栄光は、永遠にあなたのものです。アーメン

〈祝祷〉

司式者 主があなたがたを祝福し、あなたがたを守られますように。主が
かお て めぐ
み顔をもってあなたがたを照らし、あなたがたを恵まれるように。

しゅ かお む へいあん たまわ
主がみ顔をあなたがたに向け、あなたがたに平安を賜りますよ
うに。
ちち こ せいれい ぜんのう めぐ つね みな とも
父と子と聖霊なる全能の恵みが、常に皆さんと共にありますよ
うに。

会衆 アーメン

一同立つ。

〈派遣の言葉〉

司式者 わたしたちにもされた復活の主の光をたずさえて
い しゅ へいあん
行きましょう、主の平安のうちに。
つか しゅ りんじん
仕えましょう。主と隣人に。

会衆 アーメン

〈聖歌〉 2番 (8・9頁)

2

朝の礼拝

〔第2譜〕

1 かぜに 目をさまして う たにのせる あたらしい かんしゃ
 2 かぜに むきあうとき き こえてくる ささやきと さげび
 3 かぜに おしだされて く るしみを も あたらしく になう

ひびき あう ころとこ え めばえ あう いのちをしる
 ころ みにも がくなか に ともに たつ なかまをしる
 主がと もに おられるか ら よるこ びの せかいをしる

なが い よ る にも あさは おとずれる
 なが い よ る にも あさは おとずれる
 なが い よ る にも あさは おとずれる

ひかり ととも に あさは おとずれる —
 きぼう ととも に あさは おとずれる —
 いのち をいか す あさは おとずれる —

Kaze ni me o samashite
The Committee, 2006

PALACESIDE
The Committee, 2006

1 風かぜに目めをさまして
歌うたにのせる 新あたらしい感謝かんしゃ
ひびきあう心こころと声こえ
芽めばえあう命いのちを知る
なが よる 長い夜あさにも 朝あさは訪おとずれる
ひかり 光ひかりとともに 朝あさは訪おとずれる

2 風かぜに向むきあうとき
聞きこえてくる ささやきと叫さけび
試こころみにも ながく中なかに
共ともに立たつ仲なか間まを知る
長い夜あさにも 朝あさは訪おとずれる
希きぼう望ぼうとともに 朝あさは訪おとずれる

3 風かぜに押おしだされて
苦くるしみをも 新にしく担たんう
主しゅが共ともにおられるから
よるこびの世せ界かいを知る
長い夜あさにも 朝あさは訪おとずれる
命いのちを生いかす 朝あさは訪おとずれる

詩30：5-6 知16：28 詩107：4-9 王上19：11-12